

平成 30 年度事業報告書

(概 要)

過去 10 年間の会員平均年齢の推移をみると、毎年段階的に伸び、平成 18 年からの比較で 4 歳ほど上昇しています。なお、新規入会数を退会会員数が上回る状況が続いており、会員総数の増加を目標に事業を進めていますが不本意ながら目標の達成には至っておりません。就業の分野では、一部の技術職において後継者の育成が課題となっています。一方、対前年度を下回る予算措置が一般化している公共事業をはじめ、中小企業の多くは効率的な経費の削減に取り組んでおり、地域の雇用情勢は好転しているものの、実質的な経済活動の中では実感に乏しく、厳しい状態が続いています。

今後、ますます高齢化が進む中、政府が進めている一億総活躍社会、人生 100 年時代構想には意欲のある高年齢者には働く場を提供することが掲げられていることから、センター事業への期待は自ずと高まっており、この厳しい環境の中にあっても、関係各位がより一層の努力を惜しまず、多様化しているニーズに応えることが求められています。

「臨時的・短期的な就業」「その他の軽易な業務にかかる就業」の範囲において実施している労働者派遣事業は、公共事業や一部の事業所からの要望により事業の伸びをみているところです。新規会員の入会促進や、新たな就業の場の開拓など、課題は山積されている状況にありますが、会員の自発的な組織活動を継続して推進することにより、常に問題意識を持ちながら、安全で適正な事業の推進を目指しています。

平成 30 年度の事業の詳細について、以下の資料をもって報告いたします。